


【基本施策の目的】

河川や水路などの公共用水域の水質保全会を図り、良好な都市環境および水環境を創出し、市民の衛生的で快適な生活環境を確保します。

【基本施策の今後の優先度】



判定区分	基本施策における課題の状況及び対応策
	基本施策の指標値は基本的に横ばいであるものの、河川や水路などの公共水域の水質保全会を図るとともに、良好な都市環境及び水環境を創出し、市民の衛生的で快適な生活環境を確保するための事業を展開していることや、平成31年度に向けて法適化の事務の準備をしている。当面は基本的に現状の取り組みを継続的に進めていく予定であり、同一分野内における他の基本施策との比較の結果、同一分野内における今後の経営資源の配分の優先度が普通と判断した。

【指標の分析】

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、今後の対応
公共下水道接続率	%	実績	64.0	65.8	66.3	67.2	68.0	平成29年度に供用開始区域を約67.8ヘクタール拡大し、未接続世帯への接続啓発や下水道の普及促進活動等により公共下水道接続率を増加させることができた。財源や人員の制約はあるが、事業計画に沿った下水道整備に努めることで、今後の公共下水道接続率は増加する見込み。	引き続き事業計画に沿った下水道整備を推進するとともに、未接続世帯に対する普及促進活動等により公共下水道接続率の向上を図る。
		目指す方向性							

【施策推進事業の考え方】

経常事業	削減に関する具体的な考え方								
実施計画事業	資源投入の考え方								

展開方向1	名称	公共下水道の普及を推進します							方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容
	目的	○衛生的で快適な生活環境を確保します。								
	所管課	上下水道経営課、上下水道業務課、上下水道施設課								
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度			
公共下水道普及率	%	実績	70.1	71.6	72.4	73.8	74.4	計画的かつ効率的な下水道整備を実施した結果、平成29年度に供用開始区域を約67.8ヘクタール拡大し、公共下水道普及率を増加させることができた。現行の事業計画、今後の公共下水道普及率は増加するが、財源や人員の制約があるため、計画よりも進捗は遅れる見込み。	事業計画の推進を図るためには、事業費の増額が必要であるが、財政的・人力的制約があるため、国庫の積極的な活用や早期発注に努めるなど引き続き効率的な事業執行に努める。	
		目指す方向性								
展開方向2	名称	老朽管などの更新を推進します							方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容
	目的	○既存の下水道施設が有する機能の維持・向上を図ります。								
	所管課	上下水道経営課、上下水道業務課、上下水道施設課								
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度			
不明水率	%	実績	13.3	17.3	22.8	19.7	19.6	老朽化が進んでいる下水道管から雨水が流入していると想定されるが、管路やマンホール蓋からの雨水流入は管路内面止水及び蓋替工事により対策を実施している。前年より雨量が約10%増加したものの、管路調査に基づく下水道管等の補修を前年より約100箇所増で実施したことなどもあり、不明水率が横ばいであった。	不明水率が高い地域を対象に重点的な調査を行うなど計画的な管路調査を実施するとともに、引き続き管路内面止水及び蓋替工事を実施し、不明水の原因となる雨水流入の防止を図る。	
		目指す方向性								
下水道施設故障件数	件	実績	0	0	0	0	0	ポンプ・処理施設は日常点検を実施しており、排除機能が停止する重大な故障は発生していない。中継ポンプ場の電気及び機械設備の更新工事も完了し、引き続き日常点検や適切な修繕の実施により重大故障を防止する。	引き続き日常点検を実施することで、施設の適切な維持管理に努める。	
		目指す方向性	0件							

展開方向3	名称	公共下水道への接続を促進します									
	目的	〇河川等の水質向上を図ります。									
	所管課	上下水道部									
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容		
公共下水道水洗化率	%	実績	91.3	91.8	91.5	91.0	91.5	平成29年度に67.8ヘクタールの供用開始を行ったが、下水道本管への接続までには使用者の状況等により時間がかかる場合がある。年度毎で分子、分母の増加の割合により水洗化率が増減する見込み。	引き続き未接続世帯への戸別訪問等を行うとともに、街頭や説明会等でのPRにより接続促進に努める。		
		目指す方向性	